

# 令和元年度 全九州高校バスケットボール選手権大会 報告書

報告者 上山 正智（鹿児島県）

6月22日（土）10：30～那覇市民体育館

対戦カード 精華女子 — 佐賀清和

CC：上山（鹿児島）U1：新里（沖縄）U2：江上（熊本）

## 《PGCについて》

- 新ルールの確認  
ショットクロック、テクニカルファウル、ダブルファウル 等
- メカニクスの確認
- プライマリの確認  
エリア・アングルの取れているクレーが責任を持って Call。クロスコールはしない。  
Obvious なものは必ず笛にする。
- 処置ミス0の徹底。
- 両チーム サイズのある選手がいなかったためガードのところの展開が予測される。準備を。
- 飛び込みリバウンドへの目のあて方。
- アイコンタクトの徹底。

## 《ゲームについて》

PGC に予測していた通り、ガードポジションでのボール保有率の高いゲームとなった。序盤は精華女子がリードしていたが、佐賀清和も点差がさほど広がる事もなく付いていく展開となった。前半は1桁差で付いていった佐賀清和であったが、最後は精華女子が逃げ切った。

パイプ内でのボール展開が多かった。そのため、メカニクスとしてローテーションをしなくてよかった場面が結構あったと思うが、余計なローテーションも入れてしまったと思う。



クローズダウンにもっと意識を持ち、ボールの展開に合わせて吟味すればよかったケースがあったような気がする。

クルーはアイコンタクトがよくできており、お互いのプライマリに責任を持ってレフェリングできたのではないかと思う。

6月22日(土) 13:30~

対戦カード 中村学園女子 — 中津北

CC:石嶺良(沖縄) U1:上山(鹿児島) U2:中山(沖縄)

#### 《PGCについて》

- 新ルールの確認  
ショットクロック, テクニカルファウル, ダブルファウル 等
- メカニクスの確認
- プライマリの確認  
エリア・アングルの取れているクルーが責任を持って Call。クロスコールはしない。  
Obvious なものは必ず笛にする。
- 処置ミス0の徹底。
- 中村学園の方がサイズがあるため、インサイドでのプレーの見方とディフェンスの目の当て方。

#### 《ゲームについて》

中津北のリードする展開で始まった。中村学園はインサイドにボールを集めて応戦していたが、インサイドのファウルトラブルもあり、なかなか点差は縮まらなかった。しかし、前半終わりにインターセプトからの得点で、1ゴール差で前半を終えた。

後半は中村学園のインサイドのプレイヤーがなかなか出続けることが出来ず、そのまま中津北が逃げ切る形となった。

中津北のアウトサイド(青9番)と中村学園のインサイド(白15番)のキープレイヤーに、もっと早く目を当てるべきであった。特に白15番に関しては下級生の時から主力として活躍しているプレイヤーであり、そのプレイヤーのファウルばかりがフォーカスしてしまい、ファウルトラブルになってしまった。

CCにフォローを頂きながらのゲームであった。せっかくの機会にも関わらずコート上でCCメンタリティーを発揮することが出来なかった。

### 《全体を通して》

初めて九州大会にて CC を任せて頂いた。クルーが気持ちよくレフェリングできるように心がけたつもりであるが、自己評価としてはまだまだであると感じた。ゲーム後の MTG では審判主任（大久保 氏）からは評価して頂いた。しかし、2ゲーム目に関しては上級としてまだまだ改善しなければならないことが出てきた。例えば、スローインさせる際、笛を啜えながらボールを渡せているか・3P の表示をしっかりと行えているか（審判主任：山口 氏に指摘頂いた）等、しっかりとルール通りに示せていなかった部分もあった。まだまだ自覚が足りてない証拠だと感じた。そして常に CC メンタリティーを持ってコートに立たなければならないことを改めて実感させられた。

これから 指摘頂いたところだけでなく更に色々なところに目を向け、ゲーム毎によりよくなるように努めて参りたい。

派遣頂き、貴重な経験を積ませて頂きましてありがとうございました。